

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第111号

平成24年1月1日

企画・編集：広報研修部 発行責任者：鴨志田勝雄
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：http://www.net1.jway.ne.jp/c-kanesa



きずな
絆

本年もよろしくお願い致します。
平成24年元旦

金沢学区コミュニティ推進会

猪苗代湖から見た日の出

撮影：沼田

栄三さん

神楽面

(住民文化祭の展示から)

【制作者の声】

金沢団地支部

株木 幹人さん

面には、能面、神楽面、狂言面があります。

神楽面は、お神楽を舞う時に使いますが、お祭りにも使われるので祭面とも言われています。

この面は軽くするため桐の木などを彫刻し、胡粉を塗り仕上げます。



展示された「天狗」(左)と「ひょっとこ」(右)

獅子頭の彫刻は7年目になり、たくさん作ってきましたが、最近は神楽面作りを始めました。

神楽面は種類も多く壁面に飾れて、かつ能面と違い制作に自由度が多いのが良いと思っています。

1月～3月の行事予定

- 仕事はじめ : 1月4日
- 賀詞交歓会 : 1月8日
- 囲碁・将棋・健康麻将大会 : 1月21日
- みんなであそぼう : 1月22日
- 住民芸能祭 : 2月11日

辰年の話

「辰」は「振」(しん;「ととのう」の意味)で、草木の形が整った状態を表している。後に、覚えやすくするために想像上の動物である龍が割り当てられた。



龍は天に向かい上昇して行く様子から、強い上昇志向を表す。(写真は鴨志田京子さんの作品)

金沢学区総合防災訓練「生活安全のつどい」

民生委員と協働で一人暮らし高齢者の安否確認訓練を実施

11月20日(日)に金沢小学校グラウンドを会場に金沢学区自主防災会の総合防災訓練が実施されました。訓練は8時50分の行政防災無線の放送によって開始され、支部ごとに一時避難場所に集まり、避難訓練をしながら対策本部の置かれた金沢小学校に向かいました。グラウンドで報告訓練をした後、生活安全のつどいが行われ、体験訓練などが実施されました。

今回の訓練は、茨城県沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、家屋倒壊や火災が発生したことを想定し行われました。

トランシーバーによる交信訓練では、各支部から本部に避難状況が刻々と伝えられました。

今回は東日本大震災を教訓に、一人暮らし高齢者等の安否確認を重点に民生委員、女性防火クラブ員と協働で訓練を実施しました。

全支部が集合した9時40分か

ら報告訓練があり、各支部長から鴨志田本部長に避難人員や被害状況などが報告されました。参加者は各支部、自警団、女性防火クラブ等450名でした。

生活安全のつどいは9時50分から始まりました。参加者は4班に分かれて、消火器の取り扱い・担架作り・心肺蘇生術・煙道による煙体験を多賀消防署大沼出張所の方々から指導を受けました。今回はグラウンドの状況から、担架作りと心肺蘇生術訓練は体

育館で実施しました。訓練の最後は粉末消火器による油火災の消火体験と水バケツリレーによる消火体験をしました。

最後に、炊き出し訓練で作られた熱々のとん汁を試食し散会しました。

まだ余震が続いており、参加者は熱心に訓練に取り組んでいました。

これを機会に「自分たちの地域は自分で守る」の精神をもち災害に備えたいものです。



生活安全のつどい開会式



AEDを用いた心肺蘇生訓練



水バケツリレーによる消火体験



粉末消火器による油火災消火体験

専門部協力部員の募集

当コミュニティ推進会では現在12の専門部を中心に種々の行事や地域活動を行っています。これらの活動にご協力頂ける専門部の協力部員

地域活動に意欲のある方を求めています

(ボランティア)を募集しています。地域活動に意欲のある方、関心のある方は事務局までご連絡下さい。連絡先：金沢交流センター ☎36-3985

生涯学習「かねさわ大学」 移動学習 「国立西洋美術館と羽田空港」へ

「かねさわ大学」は6月開講以来、月1回各種講座等を開催し、第3回まで順調に進行しています。

第4回は、9月13日(火)に移動学習「国立西洋美術館見学会と羽田国際線ターミナルの散策」を実施しました。参加者を一般募集したところ、定員80名に対してキャンセル待ちが出るほどでした。

当日は快晴でバス2台に分乗して出発。羽田空港に向かう途中、車窓から東京スカイツリーが間近に見られその高さに圧倒されました。

羽田国際線ターミナルでは、5階の展望デッキから飛行機の離着陸の様子を見た後、4階の「江戸小路」を散策しショッピング等を楽しみました。

国立西洋美術館では、企画展として「大英博物館古代ギリシャ展」が開催されており、彫像・壺絵など至宝135点を鑑賞しました。紀元前の昔に“人間の身体こそが、美の極致”として表現した作品にふれ、美の普遍性を感じました。

最後にNHK放送博物館を見学し、ラジオ・テレビ放送の歴史を目の当たりにするとともに、懐かしい番組にも出会いました。

帰路のバスでは、和気あいあいと会話ははずみ、楽しみながら有意義な移動学習を終えることができました。(生涯学習事業部)



国立西洋美術館前で記念撮影
(上の写真がバス1号車、下が2号車の皆さん)

「再発見ウォーク」でふるさと歴史探訪

10月2日(日)に「日立の魅力再発見ウォーク」を20名の参加で実施しました。

当日は暑からず寒からず薄日のなか非常に歩きやすい秋の一日となりました。最初の覚念寺ではご住職の説明に去りがたく、いつまでも質問されている参加者がいました。聖徳太子坐像も間近に見ることができ、ふるさとの歴史にふれる良い機会でした。

この後、伊勢神社・金沢金鉾跡・見晴台・GPS観測局と神永さんの適切な説明を頂き、予定通りの時間でコースを歩くことができました。

3月11日の東日本大震災で金鉾跡は崩れていたり、台風で大木が裂けていたり状況でしたが、穏やかな秋の一日でした。

(文化部)



覚念寺で説明を聞く参加者

さつまいも掘りに挑戦

11月5日(土)、さつまいも掘りを実施しました。天候にも恵まれ、小学生21名、保護者3名、スタッフ6名で畑に向かいました。

スタッフの方にさつまいものつたを切ってもらい、スコップ片手にいも掘りに挑戦しました。思っていたよりも上出来で、すごく大きいいもに歓声も聞かれました。一か所に積み上げて掘り終わってから各自5本ずつ袋に入れ、交流センターに持ってきました。小さな身体なのに“でぶっちょいも”ばかり選んで重そうな子もいましたが、最後まで頑張って歩けました。

ホールで準備してもらった「ふかしいも」と「いも汁」をおかわりし、腹いっぱい食べて満足そうでした。

帰りには、まとめて持ち帰ったさつまいもを袋いっぱい詰め込んで家路につきました。楽しい収穫祭も無事終わりました。

(青少年育成部)



大量のさつまいもの収穫に歓声

第29回住民文化祭

天候に恵まれ750人以上が来場

作品鑑賞や催事コーナーを楽しむ

10月29日(土)・30日(日)の両日、第29回住民文化祭が金沢交流センターで開催されました。

会場は屋内に作品を展示し、屋外では各種の催し

が行われました。天候にも恵まれ750人以上の方が来場し、作品鑑賞や催し物を楽しんでいました。先着200名への花苗プレゼントも好評でした。

屋内展示では、絵画、絵手紙、切り絵、写真、書道、手芸、シャドーアート、俳句、陶芸、彫刻、盆栽など多くの力作が展示されました。今回も金沢小学校、金沢・根道丘幼稚園、のびのび保育園の子どもたちのすばらしい絵が多数展示されました。また、かねはた老人施設からも、陶器、絵画、書道、パッチワークなどの力作が出品されました。

屋外の催事コーナーでは次の催しが行われ、人気のコーナーには行列ができるほどでした。

花苗配布・販売、野菜直売：サクラソウ、ナデシコ、葉ボタン、新鮮野菜15種類

飲食コーナー：赤飯、けんちんうどん、おでん、あんころもち、きんぴらごぼう

喫茶コーナー：たこ焼き、コーヒー、ジュース、菓子類

子どもコーナー：わたあめ、ホットドッグ、ポップコーンなど
チャレンジコーナー：ぬり絵、リース作り、お好み焼き

野菜直売コーナーは飛ぶように売れ、先着200名への花苗のプレゼントも好評でした。

今回は、271人の方から456点の出品があり、来場者は延べ750名以上で、2日間とも盛況な住民文化祭となりました。



展示された作品を鑑賞する来場者



好評を博した花苗プレゼント



部屋いっぱい展示された幼稚園・保育園児の作品



和室には精魂込めた盆栽の数々



飲食コーナーで腹ごしらえ



子どもに人気のわたあめ



お好み焼きに挑戦

金沢学区 敬老会 みんなで長寿を祝う

9月19日(月)に金沢小学校体育館において、「金沢学区敬老会」が開催されました。会場には米寿者6名を含め311名の方が出席されました。第一部の「敬老者のつどい」では主催者挨拶、祝い品贈呈、来賓祝辞、小学校児童によるお祝い作文朗読やインタビューの後、第二部の「演芸会」に移り、お年寄りの方々と楽しい交流となりました。

敬老会場では受付を終えた方が、知合いを見つけて体調や孫の話に花を咲かせていました。

午前10時、第一部「敬老者のつどい」が始まり、鴨志田実行委員長挨拶、次いで日立市菊池上下水道部長より米寿者に褒状と祝い品の贈呈がありました。米寿者代表謝辞では小瀬貢さんの、和歌一首「花は昔の春に変わらず何事も、移りのみ行く世の中に・・・」と朗読され、しばしその声量に会場の皆さんが聞き入りました。

来賓挨拶では、東日本大震災で

の「釜石の奇跡」として「津波でんでんこ」の話が紹介されました。それは津波が来たらまず自分が助かること、その後周囲に気を配れとの言い伝えを守ったことが釜石地域の3千人の子供・年寄を救っ



鴨志田会長の主催者挨拶



米寿者へ花束贈呈

幼稚園児とまごまごふれあいタイム

11月14日(月)、まごまごふれあいタイム・パートⅡを行いました。参加者は高齢者20名、根道丘幼稚園児22名、その他スタッフなど20名です。

はじめに園児たちから歌のプレゼントがあり、次に手遊びを教してもらいました。からだ全体を使った遊びに高齢者の方々も生き生きとして楽しそうでした。

休憩をはさんで、園児たちの群舞「よさこいカンフー」が披露されました。お揃いののはっぴを着て手には楽器を持ち、とても勇ましく素敵なダンスでした。

その後、ボランティアの方々で作ったカレーライスを頂きました。どのテーブルも話がはずみ、笑顔の花が咲いていました。(あんしん安全ネットワーク部)



園児たちの勇ましい群舞

金小3年生と高齢者との交流会

10月27日(木)に金沢小学校で3年生75名と地域の高齢者14名とのふれあい会を実施しました。

最初に6グループに分かれてお話し会を行い、子供の頃の夢や遊びなど沢山の質問が出て、高齢者は丁寧に答えておりました。3年生全員によるダンスなどの発表には、大きな拍手を送っていました。

休憩後の昔遊びでは、けん玉など遊具を使って生徒達が熱中し、大いに盛り上がりました。

昼食会後、先生や生徒たちに見送られ、楽しく過ごせた思い出を胸に校舎を後にしました。


(ふれあい活動部)



3年生の元気な発表を楽しむ

この人 19

地域の母として親しまれる
金沢南支部 鴨志田 京子さん



昭和47年婦人会会員として地域活動に参加し、以来40年に及ぶ。現在も金沢婦人会と市婦人会の会長を務める。またこの間、民生委員20年、社会福祉協議会活動12年、その他日赤奉仕会に参加するなど、幅広く地域活動を支え導いてこられた。

一方、豊かな生活を楽しむ趣味も豊富で、木目込み人形・切り絵・民謡、その上書道では市展に出展するなど幅広い。

地域活動をこなす傍ら、趣味に費やす時間は一体どこにあるのか伺いました。「趣味は誰にも邪魔されない静かな夜間に一人集中して取り組んでいます」とのことでした。この様に地域活動に興味にと自分の時間を持ち、その能力を発揮できるのは「健康と主人の理解」と話していました。

地域行事で出される婦人会のどん汁や自家製の漬物の味は格別で「地域の味」として活動の源となっています。

(広報研修部 円田正徳、沼田栄三、渡辺孝雄)

県教育委員会から表彰

金沢小 矢板教諭が「最優秀教員」に

金沢小学校の生活指導主事矢板睦美教諭が県教育委員会より「最優秀教員(Teacher of Teachers)」として表彰されました。

県教育委員会では人格・見識ともに優れ他の教師の模範となる教員を「優秀教員」として表彰し、その中でも特に継続的な実践で成果を上げている教員に「Teacher of Teachers(TOT)」の称号を与えています。先生の今後のさらなる活躍が期待されます。



【本人のコメント】私を教師としてここまで育ててくれたのは、今まで出会った子どもたち、校長先生はじめ同僚の先生方、そして支えてくれた家族です。これからも背伸びをせず、自分にできることを自分なりに取り組んでいければと思っています。今後ともご指導よろしくお願いします。

鴨志田会長が県社会福祉協議会より表彰

当会鴨志田勝雄会長が10月17日に開催された茨城県社会福祉大会で、県社会福祉協議会より表彰されました。多年にわたる社会福祉の増進に貢献された功績が認められたものです。

かねさわ 文芸

短歌

- ・ 健診の様式変わり十番の
検査で終る つゆあけ間近
 - ・ 娘から喋る人形おくられて
息との暮し笑い出来たと
 - ・ 招かれて友の家訪えば馨しき
花がむれ咲く晩夏の庭に
- 金畑団地支部 廣川 良子

俳句

- ・ 万物に分け隔てなき初日の出
 - ・ 着ぶくれて百余の笑顔 縁側に
 - ・ 年老ひて一つ趣味持つ年賀状
 - ・ 子の家は留守電ばかり年の暮
- 台原団地支部 竹田 都
- 根道ヶ丘団地支部 古川 ヨシエ
- 台原団地支部 沼はぎの

支部の声

金沢南

支部長になって

支部長 佐藤 達夫



今年、未曾有の大震災に見舞われたにも関わらず、夏まつりや敬老会、文化祭などの行事が予定通りに終了しました。

大イベントの夏まつりは、前年の支部長さんはじめ周りの方々からの応援を受け、楽しく実施でき感謝しております。

支部長になって周りを見る機会が多くなって感じることは、高齢化が一層進み、空家あるいは耕作放棄地が増えているということです。

これからどういう暮しになるのか、どうすべきか、お互い知恵を出し少しでも自分たちが住み良い所になるようにしたいものです。

大沼

震災を体験して

支部長 伊勢 弘幸



大沼支部の役を受け半年が経ちましたが、皆様のご協力により、これまでの支部の行事活動が無事に実施できましたことに感謝申し上げます。

さてこの度の東日本大震災では、ライフラインの寸断等で大変不自由な生活を余儀なくされたことと思います。近年では近所付き合いが疎遠になったと言われていたようですが、今回の震災を通し、日本の「助け合い精神」を見た気がします。困難な時こそ地域一体となり「助け合い精神」で頑張りましょう。

がんばろう日本！ がんばろう日立！

ボランティア合同研修会を実施

11月24日(木)、ボランティア関連メンバーによる、ひたちなか市の介護老人保健施設「プロスペクトガーデンひたちなか」と「さわの森」見学の合同研修会を実施しました＝写真。

平成16年に介護老人保健施設開設の後、特別養護老人ホームが増設されました。高齢者や障害を持った方々の在宅介護が実践できるよう機能訓練することを目的とした、ロボットスーツの設備とリハビリ状況、自宅生活を意識させる郵便ポストや玄関等諸設備配置の心配りなど、自立生活を支援する居住施設を見学しました。

その後、久慈川日立南交流センターで、市消防本部予防課の方



による「家庭でできる地震対策」と題し講演を頂きました。3・11震災時の東北や日立市内の状況をスライドで見たり、万一の時の対応についてお話を聞き、忘れかけた日々を改めて思い起こしました。

参加者相互の懇親が深められ、有意義な研修を終えることができました。(ボランティア活動部)

骨粗しょう症予防の講話と試食会

11月11日(金)、ふれあい健康クラブで「骨粗しょう症予防のための講話と試食会」を催しました。

栄養士さんの講話の内容は次のようでした＝写真。

- 骨を丈夫にするため歩くこと
- 日光に適度にあたること
- 食事から摂るカルシウムも大切に

講話の終る頃、栄養士さんの指導のもと試食用の料理ができあがりました。出された「鮭の香味野菜がけ」と「ひじきのサラダ」には工夫が込められ、塩分控えめで薄味、バランスの良いカルシウムの豊富なメニューでとても美味しく頂きました。

食材も手軽に手に入るもので、レシピも頂いたので早速家で作って家族にも食べさせたいとの声もありました。命の源である食生活の大切さを学び、今後毎日の生活で活かしていきたいと思います。

(健康づくり部)



センターだより

■年末恒例のジャンボな門松づくり

今年も師走に入り、12月12日(月)に年末恒例の金沢交流センターおよび金沢小学校の玄関に飾る門松づくりを行いました。

当交流センターの門松づくりは、大きな門松づくりの技術を次世代に伝承することを目的に、12年前から毎年行っています。

当交流センターの門松の特徴は、高さはもちろんですが、竹の切り口は「ソギ」と呼ばれる節を入れた個所を斜め切りして、切り口が笑い顔にみせることにあります。



今年も立派な門松が出来ました
＝写真。高さは3.1mで、日立で一番高いジャンボな門松だと職員一同自負しています。玄関に門松が立って、交流センターは早くも正月気分です。

■節電ご協力への御礼

今年の7～10月の夏場は、東日本大震災に伴う東電福島第一原発事故により、東京電力管内の電力不足が深刻化し、交流センターにも節電への協力依頼がありました。

当交流センターの節電への取組としては、エアコン温度は28℃に設定し、事務機器および事務室、ロビー、廊下などの照明灯をこまめに切ることを徹底しました。

その結果、4ヶ月間の平均使用電力量は前年度に比べて約30%節減することができました。

節電にご協力いただいた利用者の皆さんに感謝いたします。引続き「冬の節電」にもご協力をお願いします。

センター利用 サークル紹介 23

なでしこ会

優雅で華麗なダンスを

私達のグループは男性4名、女性7名の小さな集団です。先生の指導は受けていません。

元気な挨拶から始まり、ラジオ体操第一のリズムに乗って心身ともにリラックスしてからレッスンをし、良い汗をかきます。

優雅で華麗なダンスは「習うより慣れる」と言いますので、恥ずかしがらずに少しでも多く踊りに

慣れることが大事ですね。そして休憩時間も楽しみで、世間話や時には政治の話などにも発展して時間をオーバーすることもあります。

女子サッカーW杯に優勝した「なでしこジャパン」のファイトをいただいて、私達「なでしこ会」

も美容？と健康そして体力作りのために、これからも頑張ってください。

第2と第4火曜日の午後にレッスンをしています。ご一緒にいかがですか。(代表 加瀬京子)



編集後記

昨年は東日本大震災など大きな災害があり、地域の絆を見直すきっかけにもなりました。最近、当学区在住の男性高齢者から「伊勢

神社前で転倒したところを散歩中のご夫婦に救護され、止血処置後救急車に同乗し病院に連れて行って頂いた。名前を聞く余裕もなかったのでお礼を言いたい。」という話が寄せられました。身近な人

同士がお互いに助け合うことの大切さを再認識しました。「遠くの親戚より近くの他人」とも言われます。現代版「向こう三軒両隣り」の精神が地域の絆を強める原点のような気がします。(W)